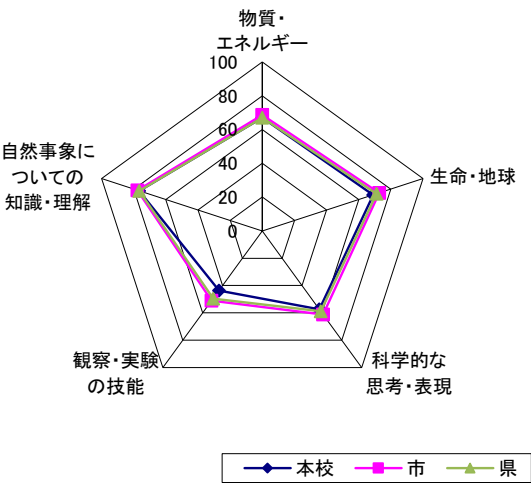


宇都宮市立富屋小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	67.0	68.6	67.0
	生命・地球	69.0	72.7	71.1
観点	科学的な思考・表現	57.4	61.2	58.8
	観察・実験の技能	43.6	51.0	49.5
	自然事象についての知識・理解	76.6	77.7	76.6



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○「へこんだピンポン玉が元の形にもどる理由が分かる」「湯気と水中からでてくる泡の正体が分かる」「光電池の働きと光の強さの関係から結果を推測する」設問については、市や県の正答率を上回った。 ●「閉じ込めた空気を圧す際の体積と手応えの変化が分かる」「乾電池2個を直列につないだときの回路図が分かる」などでは市や県の正答率を大きく下回った。 ●市や県の正答率を下回る設問が多かった。市や県の正答率を上回った設問と同じ単元の設問で、市や県の正答率を下回ることがあり、単元の内容をきちんと理解しているとはいえない。	・実験や観察には興味をもって取り組んでいるが、「楽しい」で終わらせることなく、行方意図やその結果や変化から分かることをしっかりと考察し深めていけるようにする。 ・実験や観察から分かったことをしっかりとまとめ、知識として習熟させていく。
生命・地球	○「ヒトのからだ」についての設問は市や県の正答率を上回った。 ●「グラフを基に地面の様子と気温の変化について考察する」「冷やしたコップの周りについた水てきの正体が分かる」など、活用力を問う問題は市や県の正答率を大きく下回った。	・実験や観察では、結果から気付いたことや考えをきちんと記録する習慣をつけさせ、結果について自他の考えを交流させる活動を取り入れていくことにより、考察する力や学び合う力を高めていく。